

初めてセドナに行ったときの話です。あれは11年前の11月、1999年でした。

「セドナ」という場所がどこなのか、何かあるのか、よくわからないままに行きました。

セドナで、暖かい灯りに誘われるようにして入ったカフェがあったのです。

暗いセドナに、ポッと、暖かく光っていた看板は、「Heartline Cafe」



名前もいい感じだなと、フラフラと入りました。

もうすでに夕食は済ませていたので、お茶だけでもいいですか、と聞いたら、とてもやさしい笑顔で「sure!」と。

店内は、ほんのりオレンジ色のあったかい光。お客さんもゆったりと食事とその空間を楽しんでいる、という風情。

確か、カプチーノとフルーツタルトを頼んだと思います。

アメリカだし、内心期待はしてなかったのですが、出てきたカプチーノはとってもおいしくて、ケーキが期待を裏切っていた！

ゴテゴテの大きな甘い甘いケーキが出てくると思いきや、甘さ控えめのとっても美味しいタルトでした。

まあ、ワタシのアメリカ食に対する、偏見もあったのかもしれないけれど(でも、結構往々にして大味ですよ?)

「おお!」と驚いて、その後も、お洒落なレストランだったなあと、覚えていました。

そして、その後、何度もセドナを訪れることになりましたが、そのたびに、ハートラインカフェには行きたくなくなります。時間がたって、きっとレ

ストランも変わってきているだろうし、シェフも変わったかもしれないし、メニューも変わっ

ていると思うけれど、あの雰囲気はいつも同じです。

セドナのお店はどこでもそうですが、皆、あたたかい笑顔で迎えてくれます。

ホテルのスタッフなどに聞いても、「Good Red t a u r a n t ! 」と言っています。最後に行った去年の冬は、改装中だったので、カフェしかオープンしていなかったけれど、メインダイニングも改装後、また、暖かくお客さんを迎えるハートラインカフェとしてオープンしたと思います。

美味しいだけではなく、気持ちがほっとする、ハートラインカフェ。ワタシの思い出のカフェでもあります。だから、旅行の相談をしてくれる皆さんにも、オススメしています。

去年、クレッグ・ジュンジュラス氏のセミナーツアーでセドナに行ったときも、最後に通訳のKちゃんと二人、お疲れ様ディナーということで、ハートラインカフェに行きました。Kちゃんも、「とっても良い雰囲気〜！」と、喜んでくれました。

いつもは、ディナーで行っていますが、今度はブレックファストを食べたいです。セドナに行かれた方は、暖かい光の「**Heartline Cafe**」を探してください。



